



## 令和3年度 中央区立銀座中学校経営計画

令和3年4月1日

中央区立銀座中学校

校長 平松 功治

はじめに

教育の根底にあるものは**信頼**です。人は自分のことを真剣に考えてくれる時、その人に心を開き信頼を寄せます。「**すべては生徒のために**」経営判断の基準はこの一点に尽きます。子どもたちはかけがえのない存在であることを心に深く留め、**リスペクト**する心を常に忘れずにいてください。

本校の教育活動の充実のためそれぞれの授業や校務分掌で何ができるか。具体的な方策を自己申告書に明記してください。当初申告の際に説明していただきます。

### I 学校教育目標

きたえる学校【校訓】

- 1 自ら考え進んで学ぶ人になろう
- 2 情操を高め心豊かな人になろう
- 3 心身をきたえたくましい人になろう

### II 目指す生徒像・学校像

子どもを一人の人間として尊び、学校の一員として重んじる。小学校教育の基礎の上に、心身の発達に応じた教育活動を進めていく。義務教育修了の教育機関であるという自負のもと、生徒が将来にわたって学び続けることができる生き抜く力を身に付けさせる。

目指す生徒像 「志を高く」 (Be ambitious!)
<p>具体的な銀中生の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○よく考える銀中生 話をよく聞き、心と頭でよく考え、自分の意見や考えを<b>相手に伝える力</b>をもつ</li> <li>○やさしい銀中生 豊かな人間性、多様性を受容する共生の心をもつ</li> <li>○つよい銀中生 あきらめない強い意志と身体、挨拶などの基本的な生活習慣や社会性をもつ</li> </ul>
<p>目指す学校像(教師像)</p> <p>「<b>リスペクト(尊敬)</b>」・「<b>チームワーク(協働)</b>」・「<b>オープン(連携)</b>」</p>

### III 学校経営の基本方針(中期的目標と方策)

- 1 「自ら考え 進んで学ぶ人」を育成するために(よく考える銀中生) → 確かな学力の向上
  - (1) 校内研究、授業観察、個々教員の不断の努力により、授業の質を向上させる。
  - (2) 国語・数学・英語・社会科で少人数、習熟の程度指導の展開等、個に応じた指導を充実させる。
  - (3) 授業規律を徹底し、落ち着いた環境で授業を進め、各教科における基礎基本の確実な定着を図る。
  - (4) **タブレット端末を有効活用**し、基礎基本の定着及び主体的・対話的で深い学びを実現する。
  - (5) 各種検定の学習や「銀座タイム」に落ち着いて取り組ませ、自学自習の学習習慣を確立させる。

(6) 銀座中学校 2020 オリパラレガシーを ESD (Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育) で構築し、全教育活動で取り組む。

2 「情操を高め 心豊かな人」を育成するために(やさしい銀中生) → 豊かな人間性の育成

- (1) 人権教育の徹底を図り、いじめ・不登校・問題行動等の未然防止、早期発見解決に努める。
- (2) 通常学級と特別支援学級の共同学習や交流学习を推進し、多様性を受容する共生の心を育てる。
- (3) 全教育活動で道徳教育を推進するとともに、道徳授業における話し合い活動を充実させる。
- (4) 各種活動(授業・行事等)に主体的に取り組ませ、仲間と共につくりあげる達成感や充実感を味わわせる協働学習を充実させる。
- (5) 生徒会活動や学級の係活動等に主体的に関わらせ奉仕の精神や集団への所属意識を高める。

3 「心身をきたえ たくましい人」を育成するために(つよい銀中生) → 健康に過ごせる心身の育成

- (1) 基本的生活習慣(態度・判断・行動力)を養う。
- (2) 朝礼等集団で集まる場では、TPOをわきまえた言動ができる。
- (3) キャリア教育を充実させ、将来にわたる生き方と自己実現を進め、将来展望性をはぐくむ。
- (4) 外部講師等の講演会等体験活動を充実させ、自己を向上させようとする意識を高める。
- (5) 自主性と個性を伸ばし自分の強みを磨くために部活動を充実させる。

○ 保護者や地域の期待に応えるために → 開かれた銀座中学校

- (1) 銀座の地域特性を生かした体験的で問題解決的な教育を推進する。
- (2) 全教育活動で東京2020オリンピック・パラリンピックに夢をもたせる教育及びする。
- (3) 地域清掃、募金活動等、地域や社会に貢献する奉仕の精神を養う。

#### IV 今年度の取組目標と方策

##### 1 確かな学力の向上

- (1) 学習の基盤としての資質・能力(言語活動、情報活用能力、課題発見・解決能力)を育成させる。
- (2) 各教科の授業の質を向上させる。授業改善の視点として以下の8つを共通理解する。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| ①「できた」「分かった」を実感できる授業 | ②タブレット端末を活用した授業     |
| ③交流・対話が活発に行われる授業     | ④他の教育活動、社会や生活に広がる授業 |
| ⑤生徒が興味をもつ教材・題材の授業    | ⑥学習の見通しや課題内容が明確な授業  |
| ⑦課題解決的で既習事項を活用する授業   | ⑧振り返り活動が充実している授業    |

- (3) 各教科において、タブレット端末を有効活用し、主体的・対話的で深い学びの質を向上させる。
- (4) 始業前の銀座タイムの自主学習に、落ち着いた環境で取り組ませ、一日の授業に臨む雰囲気づくりをする。通年を通して朝読書、タブレット端末を用いたドリル学習を計画的に行い、基礎学力(本校では「語彙力」、「計算力」とする)の獲得に努める。
- (5) 各教科等の指導と評価の一体化、教科横断的な視点に立った年間指導計画・評価計画を作成する。体的には、「東京2020 オリンピックパラリンピック」及びESDに関わる学習内容を指導計画に位置付ける。
- (6) 国語、数学、英語、社会科において、少人数指導、習熟の程度に応じた指導を展開する。また、他教科の学級単位の授業においてもグループ活動等個に応じた指導の工夫を充実させる。
- (7) 全員対象の2年時の漢字検定、3年時の英語検定に向けて、各学年及び当該教科は、計画的に事前学習に取り組ませる。また、各検定とも3年卒業期までに3級合格を目標とする。

## 2 豊かな人間性の育成

- (1) 生徒一人一人を尊重する教育を進める、生徒の存在をリスペクトし、生徒から学べる謙虚さを教師がもち、いじめや暴力、暴言を許さない学校文化を教師自らが実践し、形成する。
- (2) 問題行動につながる恐れのある芽を早期に摘むため、組織として報告・連絡・相談を丁寧に行う。特に保護者との連携は、頭から上のけがに十分注意し、特に丁寧に対応する。
- (3) 全教育活動を通して、道德教育を推進するとともに、その要となる道德の時間を大切にする。道德授業地区公開講座で、本校の教育課題に関連する内容項目で地域・保護者に授業を公開する。
- (4) 体育大会、文化発表会、宿泊行事、校外学習などの学校・学年行事に生徒に主体的に活動に取り組みせ、成功体験を通して達成感や充実感を味わわせることを通して自尊感情を高める。

## 3 健康に過ごせる心身の育成

- (1) 集団として集まる場(全校朝礼、学年集会、授業等)では、TPOをわきまえた言動ができるよう指導する。また、基本的生活習慣のうち、①挨拶・返事、②時間遵守、③清潔・整頓を本校の重点とし、一人一人の教職員として、また組織として指導にあたり、習慣化を目指す。
- (2) 3年間を見通した進路指導の充実を図る。職場訪問や職場体験学習に主体的に取り組みせ、将来の生き方について考えを深めさせるなど将来展望性の育成を図る。
- (3) 薬物乱用教室、救命救急講習会、命と心の授業、食育講演会、SOSの出し方授業、セーフティ教室等の体験型授業を通し、自らの心身の健康と安全に対する意識を高める。
- (4) 銀座中学校部活動方針に基づき適正な部活動運営を行う中で、各教員の強みを生かすとともに外部指導員を有効に活用し、生徒の個性伸長を図る。

## 4 所属愛、奉仕の心の育成

- (1) 通常学級と特別支援学級との共同学習や交流学習を推進するとともに、全教育活動で生徒同士の協働を意識した教育活動を展開し、銀中生として共に作り上げる成功経験を多く積みませ、所属(学校・学年・学級)の意識を高める。
- (2) 全教育活動でオリンピックパラリンピックに関する教育を推進し、2020 東京オリパラに夢と希望をもたせる。
- (3) 一人一人の生徒の能力に応じて、生徒会活動、委員会活動、各行事の実行委員及び、学年・学級の係、当番活動を全体の奉仕者として価値付け、主体的に関わらせることで、所属する集団へのことの喜びや誇り、及び奉仕の心を育てる。
- (4) 銀座の地域特性を生かした体験的で課題解決的な教育を推進する。銀座中学校の特色として歌舞伎座の歌舞伎鑑賞の事前事後学習、銀座ミツバチプロジェクトの取組等、地域特性や人材を生かした教育活動を充実させる。銀座の地域特性の強みとして、多様化(ダイバーシティ)が挙げられる。多様化の最先端の銀座の街を抱える銀座中校の特性を生かした教育活動を本校の特色ある教育活動を創造する。

## V 今年度の教育活動を進めるにあたっての解決すべき本校の課題

### 1 毎時間の授業を充実させる

日常の授業をしっかりと充実させてください。**生徒にとっては毎時間の授業が一期一会の授業です。**私たち教員はそのことを自覚して、教壇に立つ必要があります。もちろん授業は、教師だけではつくものではありません。生徒にもこの基本姿勢は厳しく求め続けてください。

生徒は、毎時間の授業で資質・能力を身に付け、身に付けた力を行事という実践の場で発揮し、活用力、応用力を身に付ける。行事の成功体験を通し、生徒は1日で別人のように成長します。一回り大きくなった生徒が、また日々の授業・日常の学校生活を充実させる。この繰り返しが中学校3年間の学校生活のスパイラルです。銀座中学校はこの**正のスパイラル**を大切にします。

### 2 学力向上を目指す校内研究に当事者意識をもつ

本校は区内のICT推進校に位置付けられています。「**学習の基盤となる資質能力**を身に付けるICT機器の活用」をテーマに研究を進め、令和2年2月に区奨励校の研究発表会を実施しました。区内には4つの中学校があり、4年に1回、研究発表会の機会が巡ってきます。都内に600以上ある公立中学の中で、**銀座中学校が解決すべき教育課題のテーマはやはり「学力の向上」**です。今年度は、**①一人1台のタブレット端末、②学習指導要領全面实施、③ESD**等の内容の研究実践を進めていきます。研究推進委員会を中心に教職員の叡智を集め、実り多い校内研究にしたいと考えています。担当する教科、学年、分掌、行事等で何ができるか。当事者意識をもって取り組んでください。

### 3 組織貢献力を高める

本資料を熟読していただき、それぞれの立場で本校の教育活動の充実・発展に何ができるかを考え、授業や校務分掌等で実践してください。**その内容は、自己申告書に明記してください。**自己申告の面接は、自己の組織貢献力をアピールする絶好の機会だと思い、文書作成をしてください。

### 4 保護者・地域の願いに応える

#### (1) チーム力で保護者の願いに応える

保護者の願いは、**①学力保障、②進路保障、③健全育成、④部活動の充実**です。①～③は、保護者と同じベクトルですが、④に関しては教員の働き方改革と相反するベクトルで、今年度も保護者に丁寧な説明が必要です。ただ、中学生が中学生らしく充実した学校生活を送るために、部活動は大切なものだと考えています。保護者の願いに応えることができる教師としての自分の強みは何か、反対に自分の弱みは何かを自覚し、強みの部分はリーダーシップを発揮し、弱みはチームでカバーしていきましょう。

#### (2) 個々が保護者への説明責任を果たす

生活指導等で問題がこじれる一番の原因は、通院が必要なケガなのに一人で帰宅させてしまったり、報告や謝罪を億劫がったり**の初期対応のまずさ**です。電話1本するかしないかで、その後の展開が大きく異なります。管理職への報告・連絡・相談を含め、その日にできることを必ずやりきってください。**特に頭から上のけがや事故は必ず医者の診断を受けるようにしてください。**

また、デイリーライフは家庭との連携、生徒理解の深化、家庭学習の習慣化といった効果があります。学級担任の先生方には負担をおかけしますが、引き続きよろしくお願ひします。

#### (3) 昨年度の学校評価を意識して教育活動に取り組む

昨年度の保護者や地域の学校評価の数値は高く、本校教育活動に寄せる信頼が厚いことが分かります。ただ、割合としては高くはないのですが、**授業内容や方法、いじめ・不登校対応等で不満を抱えている保護者がいるのも事実**です。このことを各教員が意識するとともに組織的な教育活動の工夫改善をお願いします。一方、「よく分からない」と回答する保護者の割合が多いので、その数を減らすための工夫が必要です。

#### (4) 地域やOB、保護者、教育委員会との信頼関係を構築する

学校として、中央区や銀座地区で催される地域行事にできるだけ参加する姿勢が、学校の信頼感を増します。勤務時間外の祭礼パトロールやPTA行事などへ参加していただく先生方には本当に感謝しています。銀座中学校の信頼を高める取組であるということをご理解いただき、ご協力をお願いします。

また、個人が作成する研修報告書や担当者が作成する調査報告書等は、必ず期日が存在します。自分の締切の先に、担当した方の締切があることを想像し、期限厳守で取り組んでください。